

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程デジタルクリエイター科	1	和声理論 I	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習	佐藤健	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
[実務経験歴]			
<p>企画開発会社でサウンドクリエイター（BGM及び効果音制作）サウンドディレクター（作品管理、スケジュール管理、外部との打ち合わせ）など担当。</p> <p>フリーランスではタレント事務所から企業までさまざまな業界へ楽曲提供やサウンド制作を10年以上経験。</p>			
単位数（授業の回数）	時間数	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	<input type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/> 通年	<input type="radio"/> 必修 <input checked="" type="radio"/> 選択
[授業の目的・ねらい]			
<p>①音楽の基礎知識の習得 ②音の動きを論理的に理解する ③ ④</p>			
[授業全体の内容の概要]			
<p>①音と音の関係性 ②和音の仕組み ③音階の仕組み ④</p>			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
音楽の基礎となる知識を養う			
[準備学習の具体的な内容]			
<p>予習は時に間違えた覚え方をしてしまう恐れがあるため基本的には復習のみ。 毎回授業内容の確認を行うこと。</p>			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
<p>使用テキスト プリント 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。</p>		<p>定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。</p>	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	音符の読み方		
2回	Interval		
3回	Major & Minor Scale		
4回	Circle of 5 th		

5回	Key Signature
6回	Major Minor Chord
7回	sus2 sus4 7th 6 th Chord
8回	Interval Invertion
9回	Major Minor Chord Invertion
10回	sus2 sus4 7th 6 th Chord Invertion
11回	Drop2 & Invertion
12回	Drop3 & Invertion
13回	Diatonic chord
14回	Diatonic Reharmonaization
15回	Modes
16回	Characteristic Pitches
17回	Compound intervals
18回	Available Tensions
19回	Diatonic Tensions
20回	Cycles 3 or 5 & 7
21回	Harmonic Minor
22回	Harmonic Minor Diatonic
23回	Melodic Minor
24回	Melodic Minor Diatonic
25回	Altered dom7 Chord
26回	Leading Tone
27回	Modal Interchange
28回	Modalation with Parallelmode
29回	Primary Dominant
30回	Secondary Dominant and Scale

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程デジタルクリエイター科	1	作曲入門	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習	佐藤健	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
[実務経験歴]			
<p>企画開発会社でサウンドクリエイター（BGM及び効果音制作）サウンドディレクター（作品管理、スケジュール管理、外部との打ち合わせ）など担当。</p> <p>フリーランスではタレント事務所から企業までさまざまな業界へ楽曲提供やサウンド制作を10年以上経験。</p>			
単位数（授業の回数）	時間数	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	<input type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input checked="" type="radio"/> 通年	<input type="radio"/> 必修 <input checked="" type="radio"/> 選択
[授業の目的・ねらい]			
<p>①音楽の基礎を使って音を組み立てる方法を知る ②論理的思考を取り入れ音楽を制作していく ③ ④</p>			
[授業全体の内容の概要]			
<p>①コード進行の仕組みについて ②音階、スケールの使い方 ③メロディ、ハーモニー、リズムの関係について ④</p>			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
楽曲の作りを理解し制作する			
[準備学習の具体的な内容]			
これまでに習ってきた音楽理論を使って作曲するための独自の考察を展開する			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト テキスト 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	Major Chord		
2回	Minor Chord		
3回	7 th 6 th Chord		
4回	sus2 sus4 Chord		

5回	メロディーとハーモニー I
6回	メロディーとハーモニー II
7回	コード進行 I
8回	コード進行 II
9回	Major Scale
10回	Minor Scale
11回	メロディーとリズムの関係性 I
12回	メロディーとリズムの関係性 II
13回	Dorian Modeを使ったアプローチ
14回	Phrygian Modeを使ったアプローチ
15回	Lydian Modeを使ったアプローチ
16回	Mixolydian Modeを使ったアプローチ
17回	Locrian Modeを使ったアプローチ
18回	ペントニックスケールとは
19回	ハーモニーとリズム I
20回	ハーモニーとリズム II
21回	メロディーとハーモニーとリズム I
22回	メロディーとハーモニーとリズム II
23回	メロディーとハーモニーとリズム III
24回	テンションコード I
25回	テンションコード II
26回	転調とは
27回	さまざまな転調
28回	セカンダリードミナントを使ってみる
29回	セカンダリードミナントテンション
30回	セカンダリードミナントスケール